

建学の精神と時代の要請を 両立、学群制導入から8年

桜美林大学総長 佐藤 東洋士氏

本誌 桜美林大学の源流は一九二一年に設立された中国・北京の崇貞学園なのです。

佐藤 本学の創立者である清水安三先生は同志社大学神学部を卒業後一九一七年にキリスト教宣教師として中国・瀋陽に渡りました。二年後に北京へ移り、中国北部を襲った大干ばつにより多くの子どもたちが飢えに苦しんだ惨状に児童収容所を開設し、約八〇〇名の幼い命を救いました。その後、一九二一年に貧困に喘ぐ女子を対象とした崇貞平民工読学校（後に崇貞学園と改名）を朝陽門外に開校し、本格的な教育活動を始めます。これが現在の桜美林学園の源で、崇貞学園は終戦時には中国日本、朝鮮半島の約七〇〇名の生徒が学ぶ学校に発展していきましました。本誌 清水先生は、米国にも留学しています。

佐藤 創立者は、崇貞学園の教育活動が軌道に乗り始めた二年後の一九二四年に米国オハイオ州のオベリン・カレッジに留学しました。同カレッジで、清水先生はフランス・アルザスの牧師であり、教育者であったジャン＝フレデリック・オベリン氏の教育の思想「Learning

and Labor」に出会います。本学のモットーである「学而事人」（学び而して人に事へつかへる）は、このオベリン・カレッジのモットーに和漢洋の学識を融合して清水先生が独自に表現したものです。清水先生はこの後、日本の敗戦により帰国を余儀なくされましたが、戦争で荒廃した現在の町田キャンパス（東京都町田市）で改めて教育活動を再開することを決意、一九四六年に桜美林学園（高等女学校、英文専攻科）を設置し、翌四七年に中学校、四八年に高校、五〇年に短期大学を開校。

大学を六六年に開学しています。桜美林という校名は、オベリン・カレッジの名の由来であり、人びとの教化と生活の向上に尽くしたオベリン師の生涯に建学の趣旨を重ね合わせ、さらにキャンパスが染井吉野、八重桜など桜の林に囲まれているところから名付けられており、オベリン・カレッジは本学の提携校にもなっています。



町田キャンパス

国際性を重視、多様な価値観に対応できる人材を育成

本誌 「キリスト教精神に基づく国際人の育成」を建学の精神としています。

佐藤 本学には、創立者が中国・北京に開設した崇貞学園と創立者が学んだ米国のオベリン・カレッジという二つの建学の源流がありますが、



佐藤東洋士（さとう・とよし）氏

1944年8月生まれ。桜美林大学文学部英語英米文学科卒業後、日本大学大学院文学研究科英文学専攻修士課程修了。桜美林大学助手、専任講師、助教授を経て、1989年・教授。1993年・副学長。1996年・学長。2003年・桜美林学園理事長。2012年・桜美林大学総長に就任。

建学の精神：キリスト教精神に基づく国際人の育成。学群構成：リベラルアーツ学群、ビジネスマネジメント学群、健康福祉学群、総合文化学群（2013年度より芸術文化学群に名称変更）。学生数：約9000名（大学院含む）。

います。主体的に取り組める学生を育成して

どちらもキリスト教主義に基づき、女性や恵まれない子どもたちに教育の機会を提供し、国籍や人種を超えて門戸を開いてきました。人々の生活の向上に尽くすことを使命とする理念を継承し、キリスト教精神に基づく国際人の育成を目指し設立されたのが本学です。本学では、この建学の精神のもと、国際性を重視し、多様な価値観に対応できる人材の育成を目指しています。本学独自の英語プログラムELP(English Language Program)だけでも六〇名以上のネイティブスピーカー・バイリンガル

スピーカーにより語学教育を行い、語学を身につけ、他国の文化をより深く理解するとともに、自国を客観的に判断できる人材の養成を図っています。また、本学には現在二一カ国・地域から六〇〇名近い留学生が学んでいます。この留学生を二〇二二年の学園創立二〇〇周年に向けて、学生の約二五％にあたる二〇〇〇名程度まで増やす計画です。日本人だけで固まっただけは国際人にはなれませんが、多様な価値観が学生の成長を促します。さまざまな国の学生と共に学び、交わることで、必ず国際性が身につくキャンパス環

境を整えたいと考えています。
本誌 学部学科制から学生の自主性が生かせる学群制への変革を行いました。
佐藤 本学では、大学教育の原点に戻り、建学の精神と時代に相応しい大学のあるべき姿の両立を模索しました。リベラルアーツでは、幅広い基礎学習科目を学んだうえで二、三年次後半頃から専門分野を深めていくレイト・スペシャリゼーションが望ましいですが、芸術系の学びや国家資格を目指す専門に特化したプロフェッショナルアーツでは入学当初から実技や実習に踏み込んだ学習が効

果的です。こうした大学の機能に加え、学生一人ひとりの興味や関心、目標にできる限り対応することを追求した結果、「自分で学びを創造し体系化させる」という学群制に辿り着いたのです。そして、教育組織の再編成を行い、二〇〇五年より学群制を導入しました。
本誌 リベラルアーツ、健康福祉、ビジネスマネジメント、総合文化（二〇一三年度から芸術文化に名称変更）の四学群がありますね。
佐藤 リベラルアーツ学群では幅広い知識と総合力を育成するために、言語・文学、人文科学、地域研究、社会科学、心理・教育、数学・理科情報・環境という広大な学問領域をカバーする三七の専攻プログラムを用意しており、学生は自分の関心、目標に基づいて、自ら学ぶものを選択して学習することができます。また、演劇専修、音楽専修、造形デザイン専修、映画専修の四専修を擁する芸術文化学群では、それぞれのコースを専門的に学び、健康福祉学群、ビジネスマネジメント学群も同様に、学習内容に即してさまざまな課題に